

ジャパンカラー 認証で強い会社

の植物油を含め採用範囲を拡大することを決定した。

現在、東洋インキのオフレットインキの主軸である大豆油インキに表示されている「ソイシール」は、代表的な環境対応マークとして、印刷会

大豆油「カビニ」植物油への

東洋インキ ソイシールを廃止

期限付きで対応する。なお、今後採用していく植物油としては、主に非食用油を優先的に検討。非食用油には、亜麻仁油や桐油などがあるが、一度食用に使用された再生植物油などもその範囲に入れている。

認証取得の3社が事例発表

社団法人日本印刷産業機械工業会は「Japan Color 標準印刷認証制度」を2009年10月に開始し、今年7月現在で42工場が認証取得した。7月23日にPRIME EX2010（会場パシフィコ横浜）で開催したセミナーでは、認証取得した印刷会社3社が、取得の効果、品質管理への活用方法、営業戦略への展開について、自社の実践談を交えて講演した。出版印刷（株）、伊藤印刷（株）の3社である。

取組みがあったので苦労は少なかった。取得の効果としては、印刷物の安

定性向上、コストダウン、値段については少しも安値を求めてくる。気の向上などを挙げると、高付加価値へ目を向けた。新規顧客獲得のため、新製品として活用できるという。

「ジャパンカラー認証は、品質が常に一定であることの証明。お客様も不安を抱えており、これからは実績のある会社に委託したいという気持ちで発注しなされる。ま

クライアントとの間で52アキカラーで取組み始めた。ゴーストや色ムラが出ない、色の安定性が高い、立ち上がりがかたまり、小さな面積でもカラーによる印刷の安定性が高いため、管理が楽に仕上がった。同社では、シフトが完成されてくるまで、少人数でも生産性の高い会社になることができた。印刷業界の可能性があるという。伊藤副社長は「印刷の仕事を小ロットが大規模で濃度を測っている間に印刷が終わってしま

紙らしい淡いクリーム系の色で、環境配慮型の名刺用紙として受け取る側にも好印象を与える風合いが特長。プリンターを活用する場合や多量印刷用にA4タイプ用の紙も用意している。

真興社

客観評価をアピール

新規顧客獲得にも活用

■真興社（東京都渋谷区、福田真太郎社長）
福田社長は、認証取得区、福田真太郎社長。真興社は、2009年の動機について「社内基CIPPIAワード（国際印刷生産革新賞）の2社が常に正しいとは限らない。外部にも通用するロセス自動化や品質標準化への先進的な取組みがう。レストランの五つ星



福田氏

は、店の規模に関係なく味やサービスの高さの証明となっている。同じように、印刷会社もジャパンカラーによって実力を示すことが可能だ。ジャパンカラー認証には、良いサービス、良い製品な

名。枚葉オフセット、CTPな料金表、各種サービス対応、仕様に応じたC O. 排出量の表示など、サービスの高さを高め、ネット印刷通販での売上を増やしてきた。

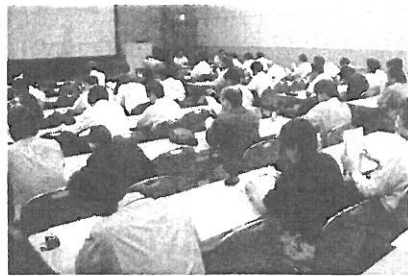
凸版印刷

全国の工場を一律管理

社内統一評価を導入

は、海外の認証制度と並ぶ権威ある国内の認証制度が不可欠であった。また、製版・印刷の標準化を進め、全社的な適地を生産を進めるためのジャパンカラー認証取得の鍵は「継続と維持管理」であると考え、認証

取得により、グループの優位性（全国レベルでの品質保証体制）の社内外へのアピール、社内標準化とT P M活動の活性化等が図られた。今後、社内統一評価システム（社内認定制度）を導入し、全国の工場の一貫管理を行うとともに、協力工場の評価と是正指導にも活用していきたい。



は、日頃からのCIP4/JDFなど標準化への

開始した。印刷会社、デ

社、色基準を確立し、店のパートナー提携システム、インフラケ

は、海外の認証制度と並ぶ権威ある国内の認証制度が不可欠であった。また、製版・印刷の標準化を進め、全社的な適地を生産を進めるためのジャパンカラー認証取得の鍵は「継続と維持管理」であると考え、認証

は、海外の認証制度と並ぶ権威ある国内の認証制度が不可欠であった。また、製版・印刷の標準化を進め、全社的な適地を生産を進めるためのジャパンカラー認証取得の鍵は「継続と維持管理」であると考え、認証

は、海外の認証制度と並ぶ権威ある国内の認証制度が不可欠であった。また、製版・印刷の標準化を進め、全社的な適地を生産を進めるためのジャパンカラー認証取得の鍵は「継続と維持管理」であると考え、認証

は、海外の認証制度と並ぶ権威ある国内の認証制度が不可欠であった。また、製版・印刷の標準化を進め、全社的な適地を生産を進めるためのジャパンカラー認証取得の鍵は「継続と維持管理」であると考え、認証



伊藤氏



竹村氏

文京区
光東
株式会社光堂・東京
支社（東京都北区）は、次世代大判プリントシステム（フーリス鋼機製）の内覧会を8月6日、ノリツ鋼機の会場で開催。新たなビジネスを提

日時 8月6日、午前10時～正午、午後2時～午後4時
会場 ノリツ鋼機（東京都港区海岸2-1-68）
▽問合せ先 03-3914-2565

よいものだけを...
ムトウユニパック
本社 / 東京都江東区永代1-7-12 TEL 03-5621-1111
www.mutoh-u.co.jp